

# 平成19年度事業報告

自 平成19年4月 1日

至 平成20年3月31日

## I. 鑄造業関連経済動向

### 1. 全体景況

政府発表によれば、平成19年度の我が国経済は、企業部門の底堅さが持続し、景気回復が続くものと見込まれるものの、「改正建築基準法」施行の影響により受託建設が減少していること等から、回復の足取りが緩やかになると見込まれる。

平成19年度の国内総生産の実質成長率は、1.3%程度になると見込まれる。

### 2. 鑄造業界

(1) 鉄鑄物の平成19年の生産は、5,259千トンと3年続けて500万トン台の生産を維持したが、平成15年以降の高い伸びから対前年比100.8%とほぼ横ばいの生産となり、平成15年度から4年間続いた高い伸びが今年度屈折を迎えた。

(2) 鋳鉄鑄物は、4,484千トン(対前年比101.3%)と底堅い伸びを示したが、その増加率は低下傾向にある。生産金額は、8,704億円(対前年比104.9%)と65ヶ月対前年同月比プラスを継続している。

(3) 一方、原材料動向は、主要原材料であるスクラップやコークスは18年からの値上がり傾向が続いており、鑄物用鋳鉄の値上がりも見込まれる状況にある。副資材も原油価格の高騰を反映して大幅な値上がり傾向が継続しており、鑄物製品の生産に必要な全ての原材料が高騰している状況にあり、会員企業の収益を圧迫しており、原材料コスト増の速やかな転嫁が引き続き大きな課題となっている。

(単位：千トン、%) (単位：百万円、%)

平成(年)	合計	鋳鉄鑄物	鑄鉄管	可鍛鑄鉄	鑄鋼	精密鑄造品
13	4,548(92.1)	3,632(90.8)	564(97.2)	93(94.9)	259(98.1)	49,305(104.7)
14	4,391(96.5)	3,602(99.2)	477(84.6)	80(86.0)	232(89.6)	44,930(91.1)
15	4,702(107.1)	3,803(105.6)	583(122.2)	81(101.3)	235(101.3)	39,742(88.5)
16	4,890(104.0)	4,102(107.8)	453(77.7)	77(95.1)	258(109.8)	43,873(110.4)
17	5,045(103.2)	4,299(104.8)	403(88.9)	66(85.7)	277(107.4)	46,293(105.5)
18	5,217(103.4)	4,425(102.9)	445(110.5)	56(84.9)	291(105.1)	47,193(101.9)
19	5,259(100.8)	4,484(101.3)	417(94.1)	54(94.7)	304(104.5)	53,714(113.8)

※注 ( ) は、対前年比

## II. 協会活動の概要

平成18年11月に作成した「鑄造産業ビジョン2006・アクションプラン」は、今後10年かけて鑄造業界の製品力、資金力、人材力の向上を図り、提案型企業への転換を目指している。

本年度は、その第1年度として①経営力の強化、②取引慣行の改善、③技術の革新、④人材の確保・育成を重点項目に掲げて多くの事業に取り組んだ。主な事業概要は以下のとおり。

1. 平成19年6月に経済産業省が策定した素形材産業、自動車産業、産業機械・航空機、情報通信機器産業の4業種の「下請け適正取引等の推進のためのガイドライン（以下、取引ガイドラインという）」の周知を図るために、平成19年10月3日に「鑄物業取引ガイドライン説明会」を開催し、主要原材料の動向、取引改善の実例を紹介した。
2. 平成20年1月11日に、ガイドラインが提唱する適正な原材料価格の転化の実現を支援するために、高騰が続く主要原材料の価格動向情報の提供、ベストプラクティスとしての取引改善の実例を紹介すると共に、会長名によるお客様宛の要望文書を会員へ配布した。さらに、2月18日に鑄物用銑鉄の大幅値上げ報道を盛り込んだ会長名によるお客様宛の文書を再度会員へ配布した。
3. 平成20年3月11日付けで、主要原材料・副資材の高騰の実態をユーザーはじめとする関係者に広く理解を得るために、日本経済新聞にガイドラインに基づく原材料価格の転化への理解を求める広告を掲載した。
4. 重量取引慣行の是正を目指して、中小企業でも導入が容易な、製品1個当たりの製造原価を把握できる原価計算モデルを開発し、会員への頒布・普及を行った。
5. 中小鑄物企業の経営力の向上を目指して、鑄造産業ビジョンを基に企業ビジョンの重要性と作成方法について、各地で「経営力向上講演会」を開催した。
6. 平成19年度の戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン委託）を1件受託し、平成18年度受託事業と併せて4件の研究開発を推進した。
7. 鑄造技術の伝承、鑄造欠陥等のデータベース構築を行えるソフト（CAST-NAVI）を開発した。
8. 将来の鑄物工場の経営者や工場長の育成を目指した鑄造カレッジを中部、近畿、北陸の3箇所で開設し、合計63名が受講し、全員が修了した。
9. 春季大会は、平成19年5月19日に、千葉市において日本鑄造工学会との共同開催により講演会、懇親会を千葉工業大学芝園キャンパスにて開催した。秋季大会は、平成19年11月8日～9日の間、神戸市において講演会、懇親会、工場見学会を開催した。
10. 鑄物産業振興議員連盟をはじめ関係政府機関に、鑄造業に係る施策・税制等の要望を行い、非上場株式等の相続税の80%の軽減措置の実現、取引ガイドラインの不合理な取引の調査等による改善状況調査等のフォローアップの実施がなされた。
11. 平成19年11月に鑄造産業ビジョン推進特別部会を設置し、アクションプランの見直しを行い、アクションプラン2008を作成した。
12. 平成19年6月にGIFA視察団を3班派遣した。またドイツ鑄造協会（DGV、VDG）との定期協議を併せて行った。
13. 平成19年9月に第5回JFS国際精密鑄造セミナーを開催し、海外9カ国を含む150名の参加があった。
14. 本会の財政基盤の強化を図り健全運営していくために、平成20年度からの新しい会費基準を第3回通常総会において承認した。

### Ⅲ. 会議に関する事項

#### 1. 会議に関する事項

本会運営上の基本的な事項及び重要案件を審議決定するため、通常総会1回、理事会5回、正副会長会6回、監事会1回それぞれ開催し、事業の円滑な推進を図った。

- (1) 通常総会 平成19年5月19日(土)、千葉工業大学芝園キャンパスに於いて  
第3回通常総会を開催し、平成18年度事業報告・同収支決算、19年度事業計画・同収支予算、20年度会費額変更等について審議・承認した。
- (2) 理事会の開催  
第11回から第15回までの合計5回開催し、協会運営に関する重要事項について審議・決定し、事業の推進を図った。
  - 1) 第11回：平成19年5月19日(土) 千葉工業大学 芝園キャンパス
  - 2) 第12回：平成19年8月29日(水) 機械振興会館
  - 2) 第13回：平成19年11月8日(木) 兵庫県民会館
  - 4) 第14回：平成20年1月11日(金) メルパルク東京
  - 5) 第15回：平成20年3月19日(水) 機械振興会館
- (3) 正副会長会の開催  
第12回から第17回までの合計6回開催し、重要案件について審議した。
  - 1) 第12回：平成19年5月18日(金) 機械振興会館
  - 2) 第13回：平成19年7月19日(木) 機械振興会館
  - 3) 第14回：平成19年10月4日(木) 械振興会館
  - 4) 第15回：平成19年12月5日(水) 機械振興会館
  - 5) 第16回：平成19年2月19日(火) 機械振興会館
  - 6) 第17回：平成19年3月12日(水) 機械振興会館
- (4) 役員選考委員会
  - 1) 第1回：平成19年11月28日【水】機械振興会館
  - 2) 第2回：平成20年1月23日【水】機械振興会館
- (5) 監事会 平成19年4月24日(火) 機械振興会館  
監事会を開催し、平成18年度事業報告書、同収支決算書及び財産目録について監査を行なった。

#### 2. 部会に関する事項

- (1) 鋳造産業ビジョン推進特別部会
  - 1) 鋳造産業ビジョン推進特別部会を11月に設置し、平成18年度に作成した「鋳造産業ビジョン2006 アクションプラン」のアクションプラン中間レビューを行い、5部会へ提言した。5部会での調整結果を受けて、アクションプラン2008を作成した。
  - 2) 部会の活動
    - 第1回 平成19年11月21日(水) 機械振興会館
    - 第2回 平成19年12月18日(水) 機械振興会館
    - 第3回 平成20年1月12日(土) 東京鋳物工業協同組合
    - 第4回 平成20年3月18日(火) 機械振興会館

(2) 総務部会

1) 総務部会を3回開催し、本会の財務・経理及び組織・運営（他の部会に属するものを除く）に関する事項について審議した。

第6回：平成19年7月13日（金） 機械振興会館

第7回：平成19年9月19日（水） 機械振興会館

第8回：平成20年3月 5日（水） 機械振興会館

2) 総務委員会を3回開催し、会費の見直し等について審議した。

第7回：平成19年7月13日（金） 機械振興会館

第8回：平成19年9月19日（水） 機械振興会館

第9回：平成20年3月 5日（水） 機械振興会館

(3) 経営部会・経営対策委員会

経営部会・経営対策委員会を3回開催し、部会の運営に関する基本的、重要な事項についての検討と、会員の企業経営に役立つ情報の提供並びに行事等の企画・立案について審議した。

第 8回 平成19年 6月 8日（金） 機械振興会館

第 9回 平成19年11月30日（金） 高輪和彊館

第10回 平成20年 2月14日（金） 機械振興会館

(4) 技術部会

1) 技術部会を2回開催し、製品開発、製造技術開発等に関する事項について審議を行った。

第1回部会 平成19年7月10日（火） 機械振興会館

第2回部会 平成20年3月 4日（火） 機械振興会館

2) 平成19年度は、技術開発委員会の下に次の委員会を設置した。

①電気炉操業研究委員会（委員長 菅野 利猛）

(5) 国際部会

国際部会を3回開催し、国際交流、海外視察・調査等に関する事項について審議を行った。国際部会に併せて国際委員会を開催し、鑄造関係の国際会議やセミナー参加に対する実行企画立案、参加有無の決定、海外鑄造団体とのネットワーク構築、海外鑄造業の実態調査、海外視察調査団の派遣等を推進した。

精鑄セミナー開催準備委員会を開き、「JFS 国際精密鑄造セミナー2007」を9月12～14日に開催した。

第1回 平成19年07月09日（月） キングパーツ株式会社

第2回 平成19年10月16日（火） ナンヨー株式会社

第3回 平成20年02月04日（月） 三井ミーハナイト・メタル株式会社玉野工場

(6) 中小企業部会

1) 中小企業部会を3回開催し、本協会の中小企業振興に関する事業、組合に関する事業等について審議を行った。

第 9回 平成19年 6月21日（木） 高輪和彊館

第10回 平成19年12月14日（水） 機械振興会館

第11回 平成20年 2月22日（金） 機械振興会館

2) 平成19年度は、次の委員会を設置した。

①政策委員会（委員長 大亀 右問）

#### IV. 事業活動

##### 1. 大会及び講演会・講習会等の開催に関する事項

###### (1) 鋳物業取引改善説明会の開催

鋳物業会員の取引改善のための説明会を2回開催した

1) 「鋳物業取引ガイドライン説明会」 平成19年10月3日(水) 参加人数59名  
機械振興会館において「下請適正取引等の推進のためのガイドラインについて」の内容と原材料の動向、取引改善の実例についての説明会を開催。

2) 「鋳物業取引改善説明会」 平成20年1月11日(金) 参加人数143名  
メルパルク東京において、新年賀詞交歓会の前に「自動車産業適正取引ガイドライン」の概要、主要原材料の動向、取引改善の実例についての説明会を開催。

###### (2) 鋳造業界と鋳物用原材料関係者との情報交換会 平成19年6月28日(木)

高輪和彊館において 鋳物用原材料の安定供給確保を目的とした、鋳物業と原材料関係者が需要に関する情報を共有する情報交換会を開催した。

###### (3) 春季大会の開催

平成19年5月19日(土) 千葉市において春季大会を開催し、講演会、懇親会を実施した。参加人数は、160名であった。

###### 1) 講演会 平成19年5月19日(土) 千葉工業大学芝園キャンパス

演 題	講演者	所 属
ものづくり国民運動の展開	前田 泰宏	経済産業省製造産業局 素形材産業室長
鋳造産業の今、これから	長坂 悦敬	甲南大学教授
韓国での鋳造技術とIT技術の融合 による生産現場の革新	崔 正吉	韓国生産技術研究院 デジタル・デザイン・センター長
フランス鋳造産業の現状と展望	ミシェル・ギニー ベルナルド・デュシモン	CTIF フランス鋳造協会代表 デュシモン社会長

###### (4) 秋季大会の開催

平成19年11月8日～9日神戸市において秋季大会を開催し、講演会、懇親会、工場見学会を実施した。参加人数は、延491名であった。

###### 1) 講演会 平成19年11月8日(木) 兵庫県民会館「けんみんホール」

演 題	講演者	所 属
当社のフルモールドラインの増強と中国工場(天津虹岡鋳鋼有限公司)の現状	松本 智汎	虹技(株)大型鋳物事業部長
ダクタイル溶湯の品質改善とコストダウンに関する事例紹介	安宅 剛	(株)クボタ 恩加島工場 産業機械製造課
“土間込め造型の時代は終わった?”	Gabriele Galante (講師) 栗田鉄也 (通訳) 伊藤 毅 (通訳)	IMF 社 栗田工業(株)専務取締役 アテックエフエムリミット® 代表
最近の生砂鋳造設備の動向	富貴原 信	新東工業(株)鋳造事業本部 機技術部副部長
中小企業活性化の取り組み… 同業者コラボレーションの可能性	田島 正明	(株)田島軽金属代表取締役
鋳造業のイメージチェンジ経営	富永 守彦	(株)トミナガ代表取締役

ビジョン経営への取り組み	富田 康裕	(株)富田鑄工所取締役社長
現場が主役の IT 化	丹羽 龍	丹羽鑄造(株)代表取締役社長

2) 工場見学会 日時 平成19年11月9日(金)

	見学先		参加人数
1班	虹技株式会社 姫路東工場	株式会社神戸製鋼所 高砂製作所	46
2班	JFE 継手株式会社	株式会社センシュウ	34
3班	菱三工業株式会社	株式会社三共合金鑄造所	35

(5) 新年賀詞交歓会 平成20年1月11日(金)

会員の情報交換及び懇親を目的に、「新年賀詞交歓会」をメルパルク東京(港区)に於いて開催した。賀詞交歓会には、行政、学会、関係団体からの招待を含めて234名の参加があった。

(6) 平成19年度青年部全国大会の開催 平成20年2月21日(木)

福島県ホテル「福島グリーンパレス」で青年部全国大会講演会、情報交換会、22日(金)工場見学会を開催し、各組合青年部員(若手後継者)及び正会員より53名が出席した。

1) 講演会

「経済産業省の施策等について」 経済産業省 素形材産業室 根岸 寿実 氏

「日本の鑄物工場、ドイツの鑄物工場～ものづくり基盤の国際比較～」

中小企業金融公庫 総合研究所 久保田 典男 氏

「ドイツの鑄造マイスター制度について」(株)トミナガ 梅原 利一 氏

「我社の鑄物学校」 福島製鋼(株) 茂木 勝重 氏

「鑄鉄溶湯中の炭素分析制度の評価」 テクノメタル(株) 富岡 淳 氏

2) 情報交換会 福島県ホテル福島グリーンパレス

3) 工場見学会 福島製鋼(株)、テクノメタル(株)

(7) ISO講習会

ISO取得促進のために現場研修会および工場見学会を開催した。

平成19年9月19日(水) 9:30~16:40

ナンヨー(株)、(株)木村鑄造所 参加者37名

(8) リスクアセスメント推進研修会

労働災害の減少を図るため、安全管理手法としてリスクアセスメント(機械等や作業の危険・有害性の事前評価)を推進する研修会を6回開催した。

第1回 平成19年7月18日(水) 13:00~16:30

川口鑄物工業協同組合3階会議室 参加者61名

第2回 平成19年9月25日(火) 13:00~16:30

長岡鉄工団地協同組合会議室 参加者17名

第3回 平成20年1月29日(火) 10:30~16:30

機械振興会館地下3階研修1 参加者3名

第4回 平成20年1月30日(水) 9:30~15:30

機械振興会館地下3階研修1 参加者22名

第5回 平成20年2月13日(水) 13:00~16:20

福岡県中小企業振興センター4階403号室 参加者14名

第6回 平成20年2月14日(木) 10:00~13:50

熊本南工業団地協同組合会議室 参加者12名

(9) 鑄造技術研修会

鑄造の基礎技術を現場作業者を対象に3回開催した。

第1回 平成19年5月26日(土) 10:00~16:30

石川県地場産業振興センター本館3階第3研修室 参加者36名

第2回 平成19年11月24日(土) 10:00~16:30

ツインメッセ静岡北館研修室4階409号室 参加者89名

第3回 平成20年2月16日(土) 10:00~16:30

名古屋ダイヤビルディング2号館4階242会議室 参加者71名

2. 鑄造業の経営改善・振興対策に関する事項

(1) 原価計算モデル委員会の活動

適な価格での販売に役立つ、製品1個当りの製造原価を把握できる計算システムを会員に提供するための委員会を6回開催した。

第7回 平成19年 6月 1日(金) リンクス

第8回 平成19年 7月13日(金) (株)クボタ中部支社

第9回 平成19年 9月 6日(木) 愛知県鑄物工業協同組合

第10回 平成19年11月22日(木) (株)クボタ中部支社

第11回 平成20年 2月 1日(金) 桃の花

第12回 平成20年 2月29日(金) (株)クボタ中部支社

(2) 「原価計算セミナー」の開催 参加人数 117名

原価計算モデル委員会の活動により作成された計算ソフトの概要説明と原価計算の重要性を啓蒙するための説明会を開催した。

平成19年12月3日(月) 機械振興会館

(3) 銑鉄鑄物経営者・営業者委員会の活動

銑鉄鑄物製造会社の経営者・営業関係者による市場情報、経営状況、経営課題等の地区別情報交換会を東京、名古屋、大阪で開催した。

1) 関東以北地区 平成19年 9月19日(水) 機械振興会館  
平成20年 1月22日(火) 機械振興会館

2) 関西以西地区 平成19年 9月20日(木) 大阪産業創造館  
平成20年 1月22日(木) 大阪産業創造館

3) 東海北陸地区 平成19年 9月21日(金) 愛知県鑄物工業協同組合  
平成20年 1月22日(木) (株)クボタ中部支社

(4) バランスウェイト委員会の活動

バランスウェイト製造会社による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的に名古屋において2回開催した。

第3回 平成19年 5月25日(金) 桃の花

第4回 平成19年12月21日(金) 桃の花

(5) 工作機械用鑄物委員会の活動

(社)日本工作機械工業会による市場動向の講演と工作機械用鑄物製造会社による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的に開催した。

第3回 平成20年2月8日(金) 機械振興会館

#### (6) 精密鑄造業務委員会の活動

精密鑄造会社による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的に4回開催した。

第8回 平成19年 5月25日(金) 機械振興会館

第9回 平成19年 9月 4日(火) 機械振興会館

第10回 平成19年11月29日(木) 機械振興会館

第11回 平成20年 2月27日(水) 機械振興会館

#### (7) カタン委員会の活動

可鍛鑄鉄、ダクタイル鑄鉄の量産鑄物製造会社による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的に4回開催した。

第1回 平成19年 6月 7日(木) 機械振興会館

第2回 平成19年 9月13日(木) 福島県 テクノメタル(株)

第3回 平成19年12月13日(木) 中央可鍛工業(株)

第4回 平成20年 3月13日(木) 機械振興会館

#### (8) 経営力強化のための講習会の開催

企業ビジョンの重要性と作成方法について、中小企業を対象に地区毎に「経営力向上講演会」を開催した。

甲信越地区 平成19年 8月27日(月) 川口鑄物工業協同組合

中国地区 平成19年 9月 7日(金) 広島市文化財団 西区民文化センター

近畿地区 平成19年10月26日(金) 大阪産業創造館

九州地区 平成19年11月22日(金) 福岡県中小企業振興センター

北陸地区 平成19年12月10日(月) 石川県工業試験場

### 3. 調査研究に関する事項

#### (1) 市場調査委員会の活動

第6回 平成19年 4月 3日(火) 機械振興会館

第7回 平成19年 6月 8日(金) 機械振興会館

第8回 平成19年 9月27日(木) 機械振興会館

第9回 平成19年11月30日(金) 機械振興会館

#### (2) 調査項目

- ①製品別生産量・生産金額、都道府県別生産量・生産金額、従業員数の統計解析
- ②原材料、副資材価格動向調査
- ③景気動向調査
- ④倒産、転業、廃業、休業調査
- ⑤需要予測調査

### 4. 鑄造業に係る施策・税制等の要望・陳情に関する事項

#### (1) 鑄物産業振興議員連盟への要望・陳情

鑄造業に関する諸施策・税制等について鑄物産業振興議員連盟へ陳情書を提出し、鑄物産業振興議員連盟議員との懇談会において決議文が発表された。

##### 1) 鑄物産業振興議員連盟役員との打合せ会

- ①日時 平成19年8月7日(火) 11時30分～13時30分
- ②場所 虎ノ門パストラル新館3階「さつき」
- ③議題 1. 銑鉄鑄物業界の現状について

## 2. 陳情内容について

### 2) 第10回鋳物産業振興議員連盟議員との懇談会

①日時 平成19年10月19日(金) 12時~13時

②場所 自由民主党本部8階 リバティ4号室

③議題 1. 銑鉄鋳物業界の現状について

2. 税制・施策陳情について

### 3) 陳情内容

## I. 施策関係

### 1. 取引慣行適正化の更なる推進

政府において、本年6月「素形材産業取引ガイドライン」及び自動車、産業機械・航空機等、情報通信機器等ユーザー産業のガイドラインをとりまとめたところですが、この取り組みの成果を着実に上げることが必要不可欠であると考えます。

鋳造産業においては、これまでの鋳造業にとって不合理な取引慣行となっている①原材料等のコスト増の転嫁の難しさ、②型保管・廃棄費用の鋳物メーカー負担、③重量に基づく値決め等が問題・課題となっており、早期に解決することが喫緊の課題となっております。

こうした問題・課題の解決のためには関係諸官庁の側面からのご支援が必要であり、以下の取り組みをお願いしたい。

①素形材産業取引ガイドライン及びユーザー産業のガイドラインの周知徹底

②経済産業省、公正取引委員会等による相談窓口機能の強化

③素形材産業取引ガイドライン及びユーザー産業のガイドラインの不合理な取引の調査等による改善状況等のフォローアップ

### 2. 鋳物用主要資材及び副資材の量的確保

製造業界向けの加工素材を、将来に亘って安定的にユーザーに供給するためには、鉄源を主とする主要資材並びに副資材が容易に入手できるような市場環境が望まれます。鉄源を筆頭に原材料の多くを海外からの輸入に頼らざるを得ない状況は今後も続くとは言え、国産品も寡占状態にあるものが多くあり、資材の量的確保に対して安定的に供給されるスキームの構築をお願いしたい。

### 3. 外国人研修生・技能実習期間3年を5年に延長

現行の3年間では十分な技能の修得が進まないの、本人と受入れ側の双方が、より高度な技能習得を希望する場合には、再度入国して2年間技能実習を受けられるよう、定着化の防止等にも留意しつつ、制度化を図って頂きたい。

### 4. 戦略的基盤技術高度化支援事業の強化

サポーティング・インダストリーとしての鋳造業の技術開発等を促進するため戦略的基盤技術高度化支援事業の予算等の強化について支援して頂きたい。

## II. 税制関係

### 1. 事業承継の円滑化

中小企業の事業承継に関しては様々な課題が存在しており、事業を承継する者の税負担の減免を講じて頂きたい。

①一定の事業継続・雇用確保を要件として、非上場株式等に係る相続税の80%以上の軽減措置の導入をお願い致します。

②事業承継税制の抜本改革に併せ、営業権を始めとする非上場株式の評価についても、事情の変更等を踏まえた所要の見直しをお願い致します。

**2. 適用期限の到来する次の租税特別措置を延長すること。**

- ①エネルギー需要構造改革投資促進税制
- ②中小企業投資促進税制

**3. 適用期限の到来しない次の租税特別措置の廃止・縮減は行わないこと。**

- ①中小企業等基盤強化税制

(2) 国税・地方税の要望・陳情

「平成20年度税制改正に関する鋳物業界の要望」について、関係官庁並びに自由民主党政務調査会に要望書を提出し、陳情した。(鋳物関連2団体連名の要望書による。)

- 1) 平成19年 9月25日(月) 自由民主党政務調査会税制調査会に提出
- 2) 平成19年10月25日(木) 自由民主党経済産業部会、商工・中小企業関係団体委員会において要望
- 3) 要望内容

**1. 事業承継の円滑化**

中小企業の事業承継に関しては様々な課題が存在しており、事業を承継する者の税負担の減免を講じて頂きたい。

- ①一定の事業継続・雇用確保を要件として、非上場株式等に係る相続税の80%以上の軽減措置の導入をお願い致します。
- ②事業承継税制の抜本改革に併せ、営業権を始めとする非上場株式の評価についても、事情の変更等を踏まえた所要の見直しをお願い致します。

**2. 適用期限の到来する次の租税特別措置を延長すること。**

- ①エネルギー需要構造改革投資促進税制
- ②中小企業投資促進税制

**3. 適用期限の到来しない次の租税特別措置の廃止・縮減は行わないこと。**

- ①中小企業等基盤強化税制

**5. 中小企業振興に関する事項**

(1) 組合理事長会の活動

- 1) 第11回平成19年6月21日(木) 機械振興会館
- 2) 第12回平成19年10月19日(金) 自由民主党本部
- 3) 第13回平成19年12月14日(金) 機械振興会館
- 4) 第14回平成20年2月22日(金) 機械振興会館

(2) 組合事務局長会の活動

- 1) 第4回 平成19年7月5日(木) 機械振興会館
- 2) 第5回 平成19年12月6日(木) 静岡グランドホテル中島屋

(3) 若手後継者委員会の活動

- 1) 第9回 平成19年5月11日(金) 機械振興会館
- 2) 第10回 平成19年10月4日(木) 愛媛県銑鉄鋳物工業組合会議室
- 3) 第11回 平成20年2月1日(金) 機械振興会館

## 6. 技術開発に関する事項

### (1) 技術開発委員会の活動

- 1) 第1回 平成19年4月12日(木) 機械振興会館
- 2) 第2回 平成19年8月2日(木) 機械振興会館
- 3) 第3回 平成20年2月7日(木) 機械振興会館

### (2) 球状黒鉛鋳鉄の歩留まり向上研究委員会

- 1) 第1回 平成19年7月17日(火) 機械振興会館
- 2) 第2回 平成19年9月18日(火) 機械振興会館
- 3) 第2回 平成20年1月24日(木) 機械振興会館
- 4) 第4回 平成20年3月7日(金) 機械振興会館

### (3) 技術データベース構築委員会

- 1) 第1回 平成19年5月14日(月) 機械振興会館
- 2) 第2回 平成19年12月4日(火) 機械振興会館
- 3) 第3回 平成20年3月14日(金) 木村鋳造所

#### 打ち合わせ会

- 1) 第1回 平成19年4月13日(金) (株)日立金属ソリューションズ本社会議室
- 2) 第2回 平成19年5月31日(木) (株)日立金属ソリューションズ本社会議室

### (4) 鋳型技術委員会の活動

- 1) 第1回 平成19年6月22日(金) 機械振興会館
- 2) 第2回 平成19年9月21日(金) 機械振興会館
- 3) 第3回 平成19年12月21日(金) 機械振興会館
- 4) 第4回 平成20年3月19日(水) 機械振興会館

### (5) 精密鋳造技術委員会の活動

- 1) 第1回 平成19年5月18日(金) 東京・北とぴあ
- 2) 第2回 平成19年8月24日(金) ニュー新橋ビル
- 3) 第3回 平成19年11月16日(金) 東京・北トピア
- 4) 第4回 平成20年2月22日(金) ニュー新橋ビル

### (6) キュボラ操業研究委員会の活動

- 1) 第1回 平成19年4月19日(木) 機械振興会館
- 2) 第2回 平成19年7月19日(木) 機械振興会館
- 3) 第3回 平成19年11月2日(金) (株)マツバラ関工場
- 4) 第4回 平成20年1月17日(木) 機械振興会館

### (7) 電気炉操業研究委員会の活動

- 1) 第1回 平成19年10月4日(木) 機械振興会館
- 2) 第2回 平成20年2月20日(水) 機械振興会館

### (8) 戦略的基盤技術高度化支援事業の実施

戦略的基盤技術高度化支援事業として平成18年度に3件と平成19年度に採択された1件を加えて、4件の研究開発を戦略的基盤技術開発室が事務局として、以下の通り実施した。

- 1) 鋳物製造における劣悪作業の作業効率を向上させる革新的なパワーアシスト装置の開発  
契約期間:平成19年4月2日～平成20年3月31日(2年目)

委託金額:59,387,000円

- 2) 鋳鉄溶湯の不純物除去と無害化技術の開発

①契約期間:平成19年1月4日～平成19年11月30日(1年目)

委託金額:126,394,800円

②契約期間:平成19年12月1日～平成20年11月30日(2年目)

委託金額:84,262,500円

3)精密鑄造品高度化に向けた造型技術の開発

①契約期間:平成19年1月4日～平成19年11月30日(1年目)

委託金額:114,184,350円

②契約期間:平成19年12月1日～平成20年11月30日(2年目)

委託金額:76,122,900円

4)真球人工砂を用いた高流動低温造型プロセスの開発

契約期間:平成19年9月3日～平成20年3月31日(1年目)

委託金額:48,868,169円

## 7. 指導・教育・人材育成に関する事項

(1) 鑄造カレッジ企画運営委員会の活動

1) 第1回 平成19年5月10日(木) 機械振興会館

2) 第2回 平成19年9月4日(火) 機械振興会館

(2) 鑄造カレッジ企画運営委員会と日本鑄造工学会人材育成委員会との合同委員会の活動

1) 第1回 平成19年5月10日(木) 機械振興会館

2) 第2回 平成19年10月18日(木) 機械振興会館

3) 第3回 平成20年2月18日(月) 機械振興会館

(3) 鑄物研修センター検討WGの活動

1) 第1回 平成19年9月4日(火) 機械振興会館

(4) 技術普及分科会の活動

1) 第1回 平成19年4月16日(月) 機械振興会館

2) 第2回 平成19年5月14日(月) 機械振興会館

3) 第3回 平成19年7月23日(月) 機械振興会館

4) 第4回 平成19年8月27日(月) 機械振興会館

5) 第5回 平成19年10月22日(月) 機械振興会館

6) 第6回 平成19年11月12日(月) 機械振興会館

7) 第7回 平成20年1月15日(火) 機械振興会館

8) 第8回 平成20年2月4日(月) 機械振興会館

## 8. 標準化に関する事項

(1) 標準化委員会の活動

1) 第1回 平成19年7月10日(火) 機械振興会館

2) 第2回 平成19年10月26日(金) 機械振興会館

3) 第3回 平成19年12月5日(水) 機械振興会館

4) 第4回 平成20年1月18日(金) 機械振興会館

5) 第5回 平成20年3月4日(金) 機械振興会館

## 9. 知的財産権の保護及び推進に関する事項

鑄造技術に関する特許情報の収集に努め、鑄造ジャーナルに科学技術文献速報、特許情報を

毎月掲載した。

## 10. 労働安全衛生及び環境保全対策に関する事項

### (1) 環境安全対策委員会の活動

- 1) 第1回 平成19年 5月22日(火) 機械振興会館
- 2) 第2回 平成19年10月9日(火) 高周波鋳造㈱、キュポラの館  
水沢鋳物工業協同組合  
10月10日(水) ㈱アイメタルテクノロジー
- 3) 第3回 平成20年2月7日(木) 機械振興会館

### (2) 鋳造業における環境安全対策の推進

- 1) リスクアセスメントの普及活動(全国5地区において研修を実施)

## 11. 広報、普及啓蒙及び情報資料の提供に関する事項

### (1) 広報事業

- 1) 編集委員会を毎月開催し、機関誌「鋳造ジャーナル」を毎月、12回発行した。
- 2) ホームページによる協会事業の紹介、各種情報の提供、会員データベースによる会員のPR等情報発信強化を図った。またE-メールを活用した双方向の情報流通の手段として、メーリングリストの準備を行った。
- 3) 新聞・雑誌等に業界PR記事の提供
  - ①適正取引ガイドラインの周知と主要原材料・副資材の高騰の現状をユーザーを始め広く関係者に理解してもらうために、日本経済新聞に広告(1/2頁)を掲載した。
  - ②報道機関に対する広報活動として、日本経済新聞、日刊工業新聞、鉄鋼新聞他の専門紙の担当記者会見を行い、資料の提供等取材に協力。
- 5) 需要業界における各種調査研究資料の提供
- 6) 経済産業省等関係官庁からの公報・情報収集活動と会員への提供
- 7) その他、業界発展のための広報・情報活動

### (2) 普及啓蒙事業

- 1) 経営、技術および海外情報に関する相談業務(コンサルタント斡旋等)
- 2) 新技術開発・新製品開発に関する紹介
- 3) 小中高生の鋳物工場見学受け入れ、鋳物教室開催等

### (3) 情報の提供

- 1) 法律、制度並びに経営、技術、労働に関する情報の提供
- 2) 会員(賛助会員を含む)に関する情報の提供
- 3) 内外の関係情報の提供

## 12. 国際交流に関する事項

### (1) 日独定期協議

2007年6月14日(木)、GIFA会場の会議室でドイツ鋳物工業会(DGV)と第3回日独定期協議を開催した。また、ドイツ鋳造技術協会(VDG)との第1回定期行儀を開催した。

### (2) GIFA 視察団の派遣および報告会の実施

2007年6月12(火)~16日(土)にドイツ・デュッセルドルフで開催されたGIFAを

始めとする国際見本市カルテットに参加した。3班構成とし、1班はGIFAのみ、2班はドイツの中小企業を中心とした視察団、3班はトルコ&スペインの視察団を組み、それぞれ派遣した。

また2007年8月29日(水)に、機械振興会館において、「GIFA2007視察団報告会」を開催し、会員へ広く報告を行った。

(3) JFS国際精密鑄造セミナー2007を開催

2007年9月12、13日に東京・学士会館でセミナーを実施。翌14日は3コースの工場見学会を実施した(山県、新潟、広島地区)。海外9カ国を含む、参加者約150名。今回はユーザー側からの講演、工場見学会と初の企画であったが、好評であった。

(4) アスタラン研究所(スペイン)との意見交換を実施

2007年9月20日に、機械振興会館において同研究所の表敬訪問を受けた。同時に研究開発体制、その他について意見交換を行った。

(5) 欧州鑄機工業会のG・ギャラント会長に特別講演を依頼し、秋季大会で発表願った。

(6) 経済産業省/タイ・ミッションに参加

2007年11月25(日)~12月2日(日)の8日間、第2回タイ・ミッションに参加して、タイの鑄造産業界の現状把握と工場進出の可能性等を調査した。

(7) 経済産業省/マレーシア・ミッションに参加

2008年1月24(日)~3月2日(日)の8日間、マレーシア・ミッションに参加して、マレーシアの素形材業界の視察を行い、今後のマレーシアを拠点とした進出の可能性等を調査した。

### 1.3. 表彰に関する事項

(1) 協会賞の募集・選考

日本鑄造協会の協会賞として、6月に安全衛生標語賞の募集、11月に功労賞、技術賞、の募集を行い、選考を行った。

### 1.4. 会員の催物に対する協力及び協賛に関する事項

- (1) 経営、技術、労務関係、教育図書、文献、視聴覚教育資料の斡旋
- (2) 工場視察、見学会の斡旋
- (3) 記念行事、催物の表彰状、感謝状の授与
- (4) 会員主催の行事、催物等への協賛及び参加

### 1.5. 支部に関する事項

(1) 中部支部事業

1) 支部総会を6月に開催、役員会を6月、3月の2回開催、講演会6月に開催、講演会協賛を5回実施。

2) 地区外工場見学会として、平成19年11月15日(木)~16日(金)に、九州地区の工場見学を実施した(参加者37名)

### 1.6. 関係官庁への協力

(1) 素形材産業ビジョン策定委員会

経済産業省が主催する素形材産業ビジョン策定委員会の鑄造業界代表委員として、本会の加藤会長が委員として参加、協力した。

(2) 自動車取引適正化研究会

経済産業省は、自動車・同部品産業の取引適正化を図るために「自動車産業適正取引ガイドライン」を作成するために設置した自動車取引適正化研究会の鑄造業界代表委員として、本会の加藤会長が委員として参加、協力した。

(3) 中央技能検定委員の推薦

中央職業能力開発協会に対し、職種「鑄造（鑄鉄鑄物鑄造作業）」に7名の委員を推薦している。

## 17. 関係団体との交流に関する事項

(1) 関係業界団体との交流

1) 平成19年4月11日（水）自動車会館会議室にて、社団法人日本自動車工業会及び社団法人自動車部品工業会と関連団体との懇談会を開催した。本会からは加藤会長が出席した。

(2) 素形材関連団体連絡会・鑄団連

1) (財)素形材センターが主催する素形材産業懇談会に当協会の加藤会長が出席し、経済産業省幹部と素形材業界幹部との意見交換を行った。

2) 経済産業省と素形材関係団体間の連絡の円滑化、情報交換を目的とした「素形材関係団体連絡会」に毎月出席した。

2) 鑄団連総会に出席した。

(4) 鑄物関連団体への協力

1) (社)日本鑄造工学会の春・秋大会、各支部におけるセミナー、工場見学会を後援。

2) (財)素形材センターの素形材月間事業への後援。

3) ダイカストマシン工業会主催のセミナーへの後援他。

## 18. 組織拡充強化に関する事項

(1) 協会パンフレットを作成し、組織の拡充強化を図るため未加入の企業、組合の加入を促進した。

(2) 本協会の目的・事業に協力いただく賛助会員の加入を促進した。

## 19. その他本協会の目的を達成するために必要な事項

(2) 以上の他、定款の目的に沿った各種事業を行った。

## 20. 会員及び組織に関する事項

(1) 正会員及び賛助会員（平成20年3月31日現在）

1) 法人正会員 324社

2) 団体正会員 33組合（601社）

3) 賛助会員 28社